

梅蕊初見

冰清玉骨世
佳人但惜
城之笑耳
頰



梅苑園昂

| | |
|-----------------|----|
| 年々和と不稀なる梅乃总 | 士朗 |
| 苔とちや人に別たる字免の也 | 雁塚 |
| 花の白子とのよらぬさき梅の赤も | 少汝 |
| とのおとら言ねも梅のまほひか | 荒野 |
| 今朝ハとや梅はかすも小庭か | 晴所 |
| 月も日もやううかきも梅乃也 | 栗大 |

玄のちあるはるや香ま白かう中の花 九峯

梅のちや一輪足ゆる雪孔く 玄麦

字免うよ梅折ひまわなううう 意色

ちる度ま維り梅のち花 卓池

静もある雨も吹うそ字中花 松兄

是うううま西月よ梅乃也 菅井

ワ終もあこぬきんてはうむ梅孔也 五雄

梅の各跡月のあぬもあり水ちる 岳輅

夕う水やまこははるか梅の風 天光

梅うやう免ハ夕暮小のきう 黄山

梅ううや巨也ともんぬ夕う那 燕亭

字免うも氣措子月孔あううらり 珉上

梅のあま新あううく月もんる折也 五喬

月よ梅よ字免よ今も月の月乃新 湛高

梅 咲きしつらぬ月の招きしや
空 欠くも月もたてあや雨さし
秋 國

初便

みさくらと花咲ぬる時
掛 五

見てのけえみこし梅の白ひる
菱 阿

里く隈梅よ成きる月
大 津
五 束

明 行やいさえあさん
共 庫
五 趙

元日のあめりき

ゆきあひあき

鴨 川乃音もあき
千 明

さきのあきもあき
高 田
九 琴

うきあきもあき
山 田
秋 雪

うきあきのあきもあき
江 戸
春 蟻

うきあきのあきもあき
京
蒼 丸

園中 忠梅 又ハ 忠梅 忠梅

定々 定々 定々 定々

方々 方々 方々 方々

十 十 十 十

忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅 忠梅